第二次瑞穂市行政改革大綱での取り組みと実績（H22～H26）

項目	内容	方針・取り組み	計画目標	実績	実績の内容等
1. 職員定員管理及び人材育成	適正な職員の確保及び配置	職員数を抑制しつつ適正な配置。	427人	425人	H26 職員数
	人材（職員）の育成	人材育成計画を策定	2,000人	1,014人	H22～26 研修を受講した職員数の年平均
	目標管理制度の構築	各職員が目標を決め事務を実施	H22	H22	実施年度
2. 経費の節減・収入の確保等	公共施設使用料、各種行政サービス負担金等の再点検	使用料の検証等、施設運営の適正化	—	H24	施設使用料改訂
	市税等の収納体制	事務対応検討、情報交換等連携強化	95.5%	95.2%	市税徴収率
	公会計の整備	財務情報として財務4表を整備、公表	H22	H22	公表開始年度
	新たな収入の確保	有料広告掲載の実施	—	H23	実施開始年度
3. 民間委託等の推進	粗大ごみ有料化	粗大ごみの有料化	—	H23	実施開始年度
	公共施設の管理運営や事務効率の向上	経費の節減（管理業務等の仕様書再点検・アウトソーシング推進等）	—	—	各課実績
4. 事務事業の再編・整理・廃止・統合	補助金等の見直し	補助事業の精査・支出のあり方検討	416	357	H22当初→H26執行
	扶助費の動向	市単独扶助費事業の伸び率抑制等	—	—	計画・実績なし
	投票区・投票所の見直し	投票区の見直し	—	3	H22～H25 見直した区の件数
	幼稚園・保育所の動向	就学前教育・保育のあり方、相互支援など運営方法の検討	—	6	H22～H26 実施事業等合計件数
5. 財政の健全化	財政の健全化	後年度負担を見据えた借入、目標経常収支比率の維持	90.2	83.1	H26 経常収支比率
	横断的業務連携	プロジェクトチームの活用、問題意識の共有	—	2	プロジェクト設置数
	保有地の処分・有効利用	活用見込みのない土地の売却	—	5,294㎡	H22～26 土地処理面積合計
6. 市民参加と協働のまちづくり	情報公開・個人情報保護制度の適正かつ円滑な運用	透明性高い開かれた市政の維持	—	19件	H22～26（5年） 公開申請数の年平均
	監査機能の充実	外部監査制度の導入	—	H22	外部監査導入年度
	開かれた審議会	目標値の設定 公募委員3割以上、女性委員3割以上	30%	8% 29%	上段：公募委員割合 下段：女性委員割合
	パブリックコメント制度の活用	パブリックコメント制度の活用・周知	—	5件	H22～26（5年） 募集件数の年平均
	広報・ホームページの充実	積極的な情報公開	28万	49万	市HPアクセス数
7. 環境にやさしいまちづくり	温室効果ガスの削減	地球温暖化実行計画に基づく温室効果ガス排出量の削減	6%	14.3%	温室効果ガス総排出削減量（庁舎）
8. 第三セクターの健全な経営	（財）瑞穂市施設管理公社の健全な経営	効率的な運営	H25	H25	清算年度
	瑞穂市土地開発公社の健全な経営	公有地となるべき土地取得、管理等	—	—	土地保有なし
	みずほ公共サービス㈱の健全な経営	平成24年度までに新法人に業務移管	H24	H25	清算年度
	（一財）瑞穂市ふれあい公共公社の健全な経営	積極的な業務企画、適正価格受託	H24	H26	歳入266百万(H26) 歳出246百万(H26)